

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【公開番号】特開2009-56522(P2009-56522A)

【公開日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2007-224116(P2007-224116)

【国際特許分類】

B 2 4 B 3/60 (2006.01)

B 2 3 Q 1/62 (2006.01)

B 2 3 Q 1/64 (2006.01)

A 6 1 C 3/02 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 3/60 Z

B 2 3 Q 1/62 A

B 2 3 Q 1/64 D

A 6 1 C 3/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月9日(2010.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

先端の作業部に、複数の切削刃を有する医療用切削具を製造する装置であって、前記医療用切削具を着脱自在に保持するチャックを備えた主軸部と、該主軸部をその傾斜角度を変更可能に保持する主軸保持部と、該主軸保持部を X、Y 軸方向に移動自在な X Y テーブルと、前記チャックに保持された医療用切削具の作業部に切削刃を形成する回転自在で円板状の砥石とを有し、該円板状の砥石が前記 X 軸と Y 軸で画定される X Y 平面と平行な平面内にあり、前記傾斜角度が、前記 X Y 平面と前記医療用切削具とが交差する角度であることを特徴とする医療用切削具の製造装置。

【請求項 2】

前記 X Y 平面が水平面であることを特徴とする請求項 1 記載の医療用切削具の製造装置。

【請求項 3】

前記主軸部が、前記医療用切削具を所定の角度だけ回転することが可能であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の医療用切削具の製造装置。

【請求項 4】

棒状の軸体の先端に作業部を有する医療用切削具を、前記軸体が一定の平面に対して所定の角度だけ傾斜するように保持する工程と、前記一定の平面と平行な円板状の砥石を固定された位置で回転する工程と、前記医療用切削具を X、Y 軸方向に移動して前記砥石により前記作業部に切削刃を形成する工程と、を有し、前記一定の平面が、前記 X 軸と Y 軸で画定される X Y 平面と平行な平面であることを特徴とする医療用切削具の製造方法。

【請求項 5】

前記 X Y 平面が水平面であることを特徴とする請求項 4 記載の医療用切削具の製造方法。

【請求項 6】

前記作業部が、ほぼ球形状であることを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の医療用切削具の製造方法。

【請求項 7】

前記医療用切削具を前記 X Y 平面内で円弧状に移動することで前記切削刃を形成することを特徴とする請求項 4 から 6 のいずれかに記載の医療用切削具の製造方法。